

宇喜多氏研究の

最前線 2024

集え！岡山城の陣

宇喜多氏が関ヶ原に敗れ、戦国の表舞台から姿を消して400年以上が経過しています。2000年代に入り、各地の史料調査が進むなどして、宇喜多氏に関する研究が飛躍的に進みました。

岡山市では、昨年、「戦国宇喜多家を顕彰する会」大河ドラマ誘致を目指して「」を立ち上げ、宇喜多氏に関する顕彰・発信活動を10月12日から本格的にスタートさせます。

宇喜多氏とはどういう存在だったのか、直家・秀家は後世様々な評価があるが実像はどうだったのかといった点について、宇喜多直家に詳しく、『現代語訳 美作太平記』（今秋発行予定）を監修する森俊弘氏、宇喜多秀家に関する著作も多い大西泰正氏、2022年に『現代語訳 備前軍記』『現代語訳 備中兵乱記』を監修した内池英樹氏の3名による鼎談で、宇喜多氏研究の最前線に迫ります。

岡山県立博物館副館長

内池 英樹氏



Profile 1972年、広島市生まれ。岡山大学大学院教育学研究科修了。主な編著書に『石谷家文書 將軍側近のみた戦国乱世』『現代語訳 備中兵乱記』などがある。2022年には『現代語訳 備前軍記』を監修。

石川県金沢城調査研究所所員

大西 泰正氏



Profile 1982年、岡山市生まれ。京都教育大学大学院修了。主な著書に『豊臣期の宇喜多氏と宇喜多秀家』（岩田書院、2010年）、『論集 加賀藩前田家と八丈島宇喜多一類』（桂書房、2018年）、『「豊臣政権の貴公子」宇喜多秀家』（角川新書、2019年）、『宇喜多秀家』（平凡社、2020年）などがある。

岡山地方史研究会会員

森 俊弘氏



Profile 1971年、東京都生まれ。専門は岡山県地域の戦国時代史、特に備前宇喜多氏。主な著書に『美作町史』『鏡野町史』通史編（中世後期担当）、論文に『岡山藩士馬場家の宇喜多氏関連伝承について』（『岡山地方史研究』95）、「戦国・織豊期における宇喜多氏の家中編制（1）～（3）」（同151、2、7）などがある。

2024年10月12日[土]

時間：13:30～15:00 [13:00開場]

会場：能楽堂ホールtenjin9

[岡山市北区天神町9-24 RSKイノベイティブ・メディアセンター内]

定員：200名 [※事前申し込み不要・先着順]

料金：無料

問い合わせ先

山陽新聞社事業本部 TEL086-803-8015

主催：おかやま城下町物語実行委員会

(岡山市、おかやま観光コンベンション協会、山陽新聞社)

「秋のおかやま桃太郎まつり2024」「集え！岡山城」

2024年10月12日(土)、13日(日)10:00～17:00 烏城公園(岡山城本段・中の段・下の段)、石山公園ほか岡山県内外の城郭PRブースをはじめ、食のブースや芸能・観光PRステージなど多彩な催しをお楽しみください。

